

## 令和3年度 学校教育自己診断まとめ

### 【回答数（回収率）】

|     | 在籍数<br>(12月1日現在) | 生徒回答数                     | 保護者回答数                    | 教員回答数                   |
|-----|------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1年生 | 206              | 172(83.5%)<br>(昨年度 85.7%) | 111(53.9%)<br>(昨年度 50.2%) | 60(96.8%)<br>(昨年度 100%) |
| 2年生 | 181              | 149(82.3%)<br>(昨年度 96.5%) | 82(45.3%)<br>(昨年度 37.1%)  |                         |
| 3年生 | 172              | 155(90.1%)<br>(昨年度 90.8%) | 73(42.4%)<br>(昨年度 66.5%)  |                         |
| 合計  | 559<br>(昨年度 575) | 476(85.2%)<br>(昨年度 91.0%) | 266(47.6%)<br>(昨年度 50.6%) |                         |

### 【はじめに】

昨年度同様、新型コロナの影響で体育祭や文化祭等の学校行事は例年とは異なる形態ではあったが実施することができ、修学旅行については行き先を変更することで実施することができた。

また、授業については、6日間の臨時休業があったため、土曜日を4日ほど登校日とし、休業期間の授業を補った。

アンケートについては府教育庁から一人一台端末の整備に伴い、Google フォームで行った。生徒は一斉に生徒の端末からの回答であったため回答数が減ってしまった。一方で保護者に関しては携帯等で回答できるので、1, 2年に関して回答数は増加した。

### 【アンケートの変更点】

生徒向け

| 改訂前                    | 改訂後                             |
|------------------------|---------------------------------|
| ⑱体育祭や文化祭など学校行事やHRは楽しい。 | ⑱制限された中ではあるが、文化祭などの学校行事やHRは楽しい。 |

| 改訂前 | 改訂後（追加） |
|-----|---------|
|     | ⑩朝ごはんは？ |

保護者向け

| 改訂前                                    | 改訂後 |
|--|-----|
| ⑯保護者として、5月、11月の授業参観や文化祭に1回以上参加したことがある。 | 削除  |

## 【結果と分析】

### <生徒向け>回答数 476 (昨年度 523)

- 「③長吉高校の授業は、わかりやすい。」については、全体として 78.4%で、目標の 70%を大きく上回った。毎年 2 年生で大きく落ち込む傾向であったが、今年度は維持できている。また、3 年生では減少しているように思えるが、昨年度（2 年次）での数値からは増加している。教職員の授業改善や工夫が生徒に効果的に作用されていることがわかる。
- 「⑥長吉高校に入学して、自分の考えや意見を伝える力がついたと思う。」については、昨年とほぼ横ばいの数値で、目標の 63%を上回った。毎年 3 年生では就職や進学にむけての面接練習を重ねるなかで、自信をつけるので数値が上昇する傾向があるが、今年も 48%（2 年次）から 65.2%へ大きく上昇している。
- 「⑬悩みや相談に、ていねいに応じてくれる先生がいる。」については、昨年より数値が減少し、目標の 65%を下回った。1 年生が 58.1%と低い数字となっているが、他の学年と比べ、「判断できない」が 26.7%と高いことが影響している。3 年生が昨年と 55%（2 年次）から 63.2%と上昇していることは、進路にむけての指導等で担任等としっかり話ができていることからだと考えられる。
- 「⑱制限された中ではなるが、学校行事や HR は楽しい。」については、昨年度は目標に届かず、検討する必要があった項目であった。全体として 71.3%と目標の 69%を上回ることができた。コロナ渦での体育祭や文化祭の実施や、2 年生の修学旅行は行き先を変更し実施することができた。3 年生においては 5 月に予定していた修学旅行は中止となったが、学年でいろいろな企画を考え、実施したので昨年（2 年次）59%から 65.2%へ上昇した。全体として、生徒も教職員もコロナ禍の中での学校行事の形態など、できることできないことをそれなりに理解したうえで、その中でできることを考え、実施することができたことが数値の上昇につながったと考えられる。
- 「⑲自分からあいさつやお礼を言うことができる。」については、昨年とほぼ横ばいの数値で、目標の 80%を上回った。始業式等での校長自らによる呼びかけや毎朝の校長、教職員による正門での声掛け等、学校全体での取り組みによる成果だと思われる。
- 「⑳外国の文化に触れる機会が多く、多文化共生が進んでいる。」については、昨年度 75%に対して、今年度 72.4%と減少した。行事や部活動に制約があり多文化共生を大きく推進するような特別な活動ができないことが影響していると考えられる。  
ただ、生徒たちが、日ごろの授業や生活が、ルーツのある生徒や教員と共に生きることを自然なことだと感じ、普段の日常としてとらえ、「多文化共生」として意識さえしていなかったら、大きな成果だと思われる。

### <保護者向け>回答数 266 (昨年度 291)

- 「①学校はエンパワの教育方針を伝え、情報提供の努力をしている。」については、  
H29 年度から 63%→68%→74%→72%で、今年度は 75.9%と概ね高い数字を維持できている。コロナに臨時休業等の連絡に、ホームページやライデンスクールをうまく活用していることが、一定評価されたと思われる。
- 「⑩学校はていねいな進路や職業などについて丁寧な指導を行っている。」については、  
H29 年度から 56%→64%→58%→64%で、今年度は 60.9%であった。  
1年 49.5% (R2年度 55%)、2年 64.7% (R2年度 63%)、3年 68.5% (R2年度 61%) で、1年生が低い数字になっているので、早い段階から保護者にむけて分かりやすく進路情報を提供するということが今後の課題である。
- 「⑯担任やその他の先生に相談しやすい。」については、  
H29 年度から 60%→59%→62%→66%で、今年度は 68.1%と上昇している。1年 72.0%、2年 59.7%、3年 71.2%で、5期生《3年》は (69%→71.2%) 6期生《2年》は (56%→59.7%)、と学年を重ねるに従い保護者の信頼が増していることがわかる。しかし、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と否定的な回答は全体で 21%→19.3%と少し減少しているが、今後さらに丁寧に保護者との信頼関係を築いていく必要がある。

### <教職員向け> 回答数 60 (96.8%)

- 「①生徒は授業にまじめに取り組んでいる。」については、  
H29 年度から 42%→44%→41%→53%で、今年度は 58.4%と増加傾向となっており、生徒への質問「①私は授業にまじめに取り組んでいる」は、H29 年度から 76%→79%→78%→86%で、今年度は 86.1%「②長吉の生徒は授業にまじめに取り組んでいる」は、H29 年度から 44%→52%→60%→63%で、今年度は 53.8%であった。教職員と生徒の間で認識の差は大きい。
- 「⑥カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。」については、  
H29 年度から 78%→87%→72%→77%で、今年度は 71.7%であり、少し減少した。
- 「⑯生徒や保護者の意見を聞く姿勢がある。」については  
H29 年度から 87%→84%→90%→90%で、今年度 91.6%と高い数値を維持しているが、生徒、保護者への質問「担任等と相談しやすい」は生徒が 61.5%、保護者が 68.1%で教員の思いと生徒、保護者の受け取り方には差がある。
- 「⑰わかる喜びや学ぶ意欲を呼び起こし生徒の力を引き出す学校である。」については、  
H29 年度から 50%→63%→64%→61%で、今年度 85.0%で大幅に増加している。エンパワメントスクールに適した学校づくりに対しての共通の認識が持っていると考えられる。
- 「⑲学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」については、  
H29 年度から 75%→69%→72%→63%で、今年度 90.0%と大幅に増加した。昨年からのソーシャルディスタンスの必要性があったが、うまく対応し、教員間で日常的に情報共有する機会や時間がとることができたと考えられる。
- 「⑳教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」については、  
H29 年度から 58%→65%→62%→50%で、今年度 86.6%と大幅に増加した。昨年度での学校教育自己診断やアンケート、提案などを具体的な指導方針や方法として速やかに盛り込んでいったことが一定評価されたと思われる。

## <教育庁等の指示により、この数年間で追加した項目について>

### ◆いじめについて

#### ・生徒対象

「⑭いじめについて、困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」については、  
H29年度から 59.9%→66%→64%→70%で、今年度 56.8%と大きく減少している。いじめや差別に対して教職員がアンテナを張り、丁寧に対応していることで生徒の教職員に対する信頼が少しずつ大きくなっていることの表れだと思われる。

#### ・保護者対象

「⑫いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」については、  
H29年度から 37%→45%→44%→47%で、今年度は 47.4%であった。今年度、「わからない」と回答した保護者 40.0%(昨年度 39%)であったが、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」は 10.9%(昨年度 16%)で減少した。

#### ・教職員対象

「⑬生徒間のいじめや差別につながる行動については未然防止に努め、事象が起きた場合には丁寧にかつ迅速に対応している。」については、  
今年度 98.4%(昨年度 95%)と微増している。教職員と特に生徒の意識に大きな差がある。否定的な回答した生徒は今年度 13.8%(昨年度 29%)と大幅に減少しているが、すべての生徒が安心した学校生活を送れるようさらに努めなければならない。

### ◆校則・指導について

#### ・生徒対象

「⑯学校の校則や指導について納得できる。」については、  
1年生 62.8%、2年生 47.0%(昨年1年次 45)、3年生 40.0%(昨年 35%)と2, 3年では半数以上の生徒が否定的な回答をしているが、昨年度からは微増している。引き続き校則や指導の意味を丁寧に説明し、ルールや校則が自分たちのためであり、自分を守ることに繋がると思えるルールや指導内容、方法に変えていく必要がある。

#### ・保護者対象

「⑭学校の校則や指導方針に共感できる。」については、  
1年生 75.6%、2年生 64.6%(昨年1年次 56%)、3年生 64.4%(昨年2年次 62%)と一定の理解は得ている。保護者の方の学校の校則や指導方針についての共感は少しずつ高まっている。

### ◆学校へ行く楽しみについて

#### ・生徒対象

「⑰学校へ行くのは楽しい。」については、  
1年生 62.8%、2年生 60.4%(昨年1年次 61%)、3年生 52.2%(昨年2年次 47%)で合計 58.6%(昨年 57%)と微増している。

#### ・保護者対象

「④子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」については、  
1年生 78.3%、2年生 62.2%(昨年1年次 60%)、3年生 53.5%(昨年2年次 68%)で合計 66.5%(昨年度 63%)と微増している。

#### ◆エンパワメントスクールへの満足度

##### ・生徒対象

「②エンパワメントスクールに来てよかった。」については、  
1年生 77.9%、2年生 77.8%(昨年1年次 70%)、3年生 71.6%(昨年2年次 53%)で合計 75.9%  
(昨年度 67%) と大きく増加している。特に3年生の増加幅が高い。

##### ・保護者対象

「⑰子供をエンパワメントスクールへ入学させて満足している。」については、  
1年生 82.8%、2年生 73.2%(昨年1年次 77%)、3年生 78.1%(昨年2年次 74%)で合計 78.6%  
(昨年度 78%)と横ばいであった。

#### 令和3年度〈全体を通して〉

・昨年度に引き続きコロナ禍での制限された中での学校生活において、いい意味で生徒は順応している部分を感じられた。また、今年度も数回臨時休校があり、家庭での学習ということもあった。家庭では、自主学習できず、学習や進路の支援も受けられない生徒が多く、学校に登校し直接教員より授業や指導を受けることの大切さを生徒たちが実感したからではないだろうか。対面式授業や制約があったとしても学校行事、進路指導への生徒の学校や教員への期待は低くない。また、教職員も授業改善や、学校行事に力をいれ行ってきたように感じられる。そういった結果、生徒の「エンパワメントスクールに来て良かった」の満足度が全学年で70%を超えたと考えられる。

・教育庁再編成備課の分析によると、「③長吉高校の授業はわかりやすい」「⑥自分の考えや意見を伝える力がついた」「⑯先生の指導は納得できる」「⑱学校行事に満足している」等の項目と「学校満足度」を問う項目は相関関係があるといわれて、今年度は③⑯⑱の項目について増加しており、満足度も67%→75.9%となった。今後、エンパワメントスクールの達成目標である「エンパワメントスクールに来てよかった」が80%以上とするためにも、生徒・保護者の意見を聞きながら工夫した取り組みを行う必要がある。